

「今後の空港の維持管理のあり方について(仮称)」骨子(案)

資料2

レベル1	レベル2	内 容	備考
1. 空港を取り巻く現状			
	社会情勢と空港整備	・社会情勢に併せてストック量が大幅に増加していること	
		・笹子トンネル事故について	
		・更なる首都圏空港の機能強化(2020年東京オリンピック開催)	
	空港施設の高度化	・高盛土、海洋構造物、構造等の高度化した施設の増加について	
2. 維持管理の現状・課題			
	維持管理の現状	・点検(基準、頻度、方法等)の現状について	
		・更新・補修の現状について	
	空港施設の維持管理の特徴	・管理する施設が広大	
		・精度の高い維持管理が必要	
		・維持管理を実施する上での時間的制約	
	点検、更新・補修の課題	・点検時間の確保が困難(特に羽田空港)になっていること	
		・補修時間の確保が困難になっていること	
	維持管理体制等の課題	・技術系職員の不足に伴い維持管理体制が弱体化していること	
		・技術系職員の業務内容が契約事務等に追われていること	
		・空港の維持管理に係る技術継承(現場重視)が困難になっていること	
	行政評価・監視結果に基づく勧告	・総務省の行政評価・監視での点検の確実な実施等の勧告について	
3. 空港土木施設の維持管理・更新の基本方針			
	PDCAサイクルの実施	・本格的なPDCAサイクルへの移行について	老朽化対策会議等
		・業務一連のPDCAを更にチェックするPDCAについて	第3回検討委員会提言
	計画的な維持管理・更新	・長期視点に立った維持管理・更新計画の策定について	緊急レビュー対応
		・維持管理を考慮した整備(設計)	第3回検討委員会提言
	点検の基準等の見直し	・点検全般の見直し	緊急レビュー対応
		・点検結果の評価(閾値)の見直し	第3回検討委員会提言
	技術開発の推進	・点検方法(モニタリング)の技術開発に関すること	赤外線カメラ等
		・補修等材料の技術開発に関すること	高耐久性アスコン等
		・工事施工方法の技術開発に関すること	
	運用面の対応	・維持管理に要する時間の確保について	第3回検討委員会提言
	情報整備及び発信の推進	・維持管理に係る情報(データ)の整備	プラットフォーム
		・維持管理に係る情報の国民への「見える化」について	第3回検討委員会提言
	職員の技術力の向上	・維持管理に従事する職員の技術力の向上について	
	地方公共団体等への支援	・具体的な支援方法等について	緊急レビュー対応
4. 講じるべき施策			
	本格的なPDCAサイクルへの移行	・一連の業務をPDCAサイクルで実施することを維持管理計画書に定めること	
		・一連の業務のPDCAサイクルをチェックする上位のPDCA体制を構築すること	第3回検討委員会提言
	計画的な維持管理・更新	・長期視点に立った維持管理・更新計画書を空港毎に策定すること	緊急レビュー対応
		・維持管理を考慮した整備(設計)を推進すること	第3回検討委員会提言
		・整備主体と維持管理主体で情報を共有すること	
	点検基準等の見直し	・点検全般を見直すこと	緊急レビュー対応
		・空港の特性を踏まえ点検結果の評価(閾値)を見直すこと	第3回検討委員会提言
	技術開発の推進	・点検方法(モニタリング)の技術開発を推進すること	赤外線カメラ等
		・大規模災害時の滑走路の健全性を短時間で把握するための技術開発をすること	緊急レビュー対応
		・更新・補修等材料の技術開発を推進すること	高耐久性アスコン等
		・工事施工方法(時間短縮)の技術開発を推進すること	
	運用面の対応	・空港事務所運用担当と維持管理に要する時間の確保について十分協議すること	第3回検討委員会提言
	情報整備及び発信の推進	・維持管理に係る情報(データ)の整備の方向性を示すこと(国民の理解を求める)	プラットフォーム
		・今後維持管理データを公表する方針を示すこと	
	職員の技術力の向上	・技術継承に関すること(マニュアルの整備、研修体制の改善等)	
	地方公共団体等への支援	・具体的な支援方法等について(研修の拡大)	緊急レビュー対応

※青色のハッチングは、第3回検討委員会の委員の意見を反映したもの

※赤色のハッチングは、緊急レビューで提案されているもの